

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 125 号)

発行日：平成 29 年 12 月 14 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会

〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)  
いますみE-mail: [maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)

初雪が 8 日（金）に降り少し積雪。昨年は確か 12 月末？だったような気がします。12 月の初めに冷え込みがあり雪がちらちら、そしてクリスマス寒波！そんなサイクルを過ごしてきました。しかし最近は何？今年は何に戻ったのでしょうか？それとも黒潮の蛇行が影響しているのか。はたまたうニーニャ？

地球は不思議です。寄生？している我々も寄生主の地球を大切に生きていかないとはいけませんね。本当は「我々も地球の一部」という認識のほうが重要なのでしょうか。話がでかすぎ！身近なことをこつこつとやりましょう。

とりあえずスタッドレスタイヤへの履き替えです。西谷ではこれが常識！しかし最近必要なし？と思う年が多くなりました。今年はどうなることやら。

(今住 12 月 13 日作成)

## 活動報告

### ★11 月 26 日（日）定期観察 7 名で活動 第 1 湿原ササ刈り・倒木処理



ササ刈りの準備 刈り払い機 3 台



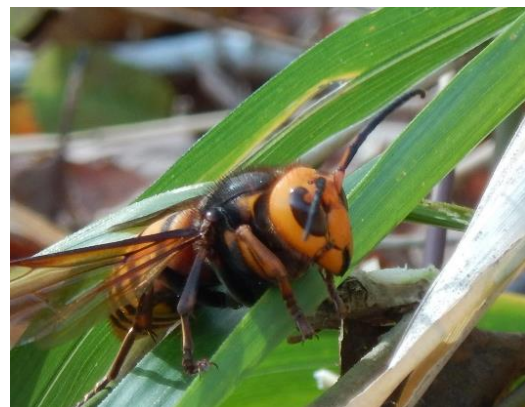
ササ刈り後の様子

分けは困難）ネットの画像では手に乗せてかわいがっている様子もありました。しかし、やはり現場で遭遇すると恐怖！発見者もフリーズ状態。私も木の陰に隠れて（意味ないですが心の安定のため）撮影しました。動画も。右画像を押すと動き出します！そんなわけありません。

このオスたちは冬を越せず死にます。女王バチのみが木の隙間や草の中、比較的暖かいところ

気になっていた第 1 湿原のササ刈りが、完了とまでは行きませんがますますできました。意味が分かりませんが…。見てくれはきれいに片付いた程度です。まだ奥のほうは残っているうえに、オオスズメバチの群れに撤退を余儀なくされてしまいました。このオオスズメバチが謎で、実はオスの軍団ではないかという疑惑がもたれています。いろいろな方に質問したり調べてみたり、悩ましいことです。

そして勝手な結論！あのオオスズメバチ軍団（数十匹）は女王バチに引き寄せられたオスの集団である。枯れ草かその近くにこの秋女王バチとして飛び立った個体がい、これまた秋にオスとして生まれた別の巣のオオスズメバチ（秋に 1 つの巣から約 5～10% 生まれるらしい）が、遺伝子を残すために必死に群がっていたと。しかも、オスには毒針はない！（オス・働きバチの見



ササ刈り中に群れていたオオスズメバチ オス？



台風の倒木処理（細かく切ります）

を探し越冬。春に巣（前号のような場所）を作り、必要最小限の働きバチを育て、あとは本当の女王様生活。そしてまた秋に世代交代をするようです。働きバチの寿命は約2ヶ月とか。人間長生きしすぎちゃいますか？といわれているようです。前号からスズメバチの話題が多いですね。ササ刈りの報告なのに。一応ササ刈りは一区切りとしたいと思います。次は昨年からの継続事業2つ。湿原再生と再萌芽の樹木刈り取りです。24日（日）には第3湿原の土木作業（再生事業）を行います。そして年

明け1月28日（日）に昨年同様「北摂里山を愛する会」（里山大学OB）と第2湿原周辺の山すその柴刈りを行う予定。ご参加よろしくお願ひします。いつもも言いますが飛び入り大歓迎です！（10:00に入口駐車場集合です）

### 武庫川流域圏ネットワーク活動報告会・たからづか市民環境フォーラム パネル出展

★12月2日（土）武庫川

★12月4日（月）～9日（土）たからづか

今年度新調したパネル3枚を携え、神戸女学院と宝塚市立東公民館でパネル展示をしてきました。

武庫川流域圏ネットワーク報告会では多くの団体の活動発表も行われました。搬入・搬出等ご協力いただいた方々に感謝いたします。

以下、水田副代表からの報告です。



神戸女学院での展示

神戸女学院大学で、広報用のパネル(3枚)と会報の合本冊子を展示。コアタイムに、活動報告及び新会員募集をおこないました。

当該発表では、大人の活動報告に加え神戸女学院大学総合文化学科の学生による発表、宝塚中学校科学部、猪名川町立六瀬中学校の生徒による発表は参加者から絶賛の意見感想が寄せられました。

丸山湿原群保全の会のポスター発表については、写真がとても綺麗、会報が大変見やすいと好評でした。また、新会員募集では、学生加入の場合会費は無料として案内しました。

発表要請もありましたが、来年度の課題とします。ご検討ください。



市立東公民館での展示(同じ?) じ顔ぶれが多数。

フォーラムの講演は、吹田のエキスポシティにある話題の水族館「生きているミュージアム NIFREL（ニフレル）」 小畑 洋 館長が「多様ないのちと個性にふれる」をテーマに講演されたようです。私は聞くことができませんでした。残念！これも来年度の課題か？

いずれにせよ、保全団体の協議会に参加する機会が多くなり、発表やパネル展示等多くなっています。皆さんご協力をお願いいたします。2月には人博（三田）にも出展予定。

**活動報告**

★12月9日（土）定期活動 4名で活動 曇りのち晴れ（寒い・積雪あり）

定期基礎調査、巡回、ごみ回収、観察、外来種除去

| 目的    | 市内 | 市外 |
|-------|----|----|
| 丸山    | 14 | 15 |
| ハイキング | 4  | 0  |
| その他   | 0  | 0  |

来場者数 計 33 人  
（竹筒ポスト人数）

| 場所   | 時間    | 気温【水温】 | 電気伝導度（EC）       | PH  |
|------|-------|--------|-----------------|-----|
| 入口   | 10：06 | 3.0℃   |                 |     |
| 視点場  | 10：47 | 6.8℃   |                 |     |
| 第3湿原 | 10：26 | 【6.6℃】 | 40.0 $\mu$ S/cm | 6.3 |
| 第1湿原 | 10：50 | 【6.6℃】 | 33.3 $\mu$ S/cm | 7.6 |
| 第2湿原 | 11：17 | 【6.3℃】 | 38.2 $\mu$ S/cm | 6.7 |

**【入口～湿原】**

ササに積もった雪



ヤブムラサキの実

ヤブムラサキの実  
ています。その中に「**ここはいつ来ても人が少なくてもいい**」と書かれていることが。そうなんです、それなんです。わかってくれてますよね。

もっと人を呼び込まんかい！とどこかで声が聞こえるようですが、ま～よろしいがな。

**【湿原】**

新雪を踏みしめ仙人が行く

湿原は又マガヤ等の枯れ草の上にうっすら雪が。木道の上にも。足あととも何もないまっさらな雪の上を仙人（御大）が進みます。朝日を浴びて後光がさしているようでした。さすがにこの時期取り立てて観察できるものはなく、ウメバチソウの種やミスギボウシの種が雪の下からのぞいていました。

参加の乙女たちは、柵の雪を集めてミニチュアの雪だるま（コダマ）を作って童心に帰っていました。



竹筒ポストにあったカキの実



コダマ？（雪だるま？）



第3湿原の様子



雪ウサギ？（雪だるま？）  
 ます。実はこの積み上げは土（腐葉土・リター）を作っ  
 てしまい、湿原を富栄養化・乾燥化させる原因になってしま  
 うのです。

こんな状態を見ると、地元の人はずぐ「燃やそか？」と  
 言って火をつけます。私もそう思うのが正直な気持ち。実  
 際私も山でササや柴などを焼いています。安全面等色々問  
 題はあると思いますが、そんな保全方法もあるのではと地  
 元会員中心にささやいています。

顧問や管理者とも相談しなければいけません（言語道断  
 といわれそうですが）、検討の価値はあるのではないかと  
 思います。参考に私がしたササ・柴焼の写真をご覧ください。  
 山火事を起こしたらえらいことですが…。乱暴な意見でし



第1湿原 視点場 ついで雪を…

左の写真は、雪ウサギ？いやいや体が違うでしょう？とは言いま  
 せん。ササの葉を耳に見立てましたが、目を見つけることができま  
 せん。帰りには赤い実を見つけ、前頁の写真のように。コダマ（も  
 ののけ姫）のよう。口がないでしょ！でもかわいい。（第3湿原）

右の写真は第1湿原。ササ刈りが終了し、よく見通せる状態  
 です。画面左の山はササを積み  
 上げたもの。雪が積もり美し  
 い。

しかし、これを何とかした  
 いのが実情。ササ刈りの活動  
 報告の写真にも右側に積み上  
 げたササが確認できると思い



第1湿原の様子・積み上げられたササ



参考 山でのササ焼き 玉瀬 2017.2



仙人通過前の第3湿原木道

うね。「火事だ」と最  
 近はすぐに通報が入り  
 ますし。しかし近くに  
 炭焼きの窯跡もありま  
 す。里山として火はタ  
 ブーではないはず。ど  
 うでしょう。灰は？？？  
 こんなびっくりネタはいけませんね。

第1湿原の視点場です。雪も朝日を浴びてみるみる溶け  
 てきました。なぜか人は雪があると足でのけようとします。安全のためか？はたまた、次に来る  
 人が転ばぬようにか？DNAに組み込まれているのか？人も不思議です。

早いもので今年の会報はこれが最後になりました。次回の活動は12月24日（日）。昨年同様第3  
 湿原再生作業を考えています。今年度は木道柵が更新されます。その古い丸太を利用して湿原整備予  
 定です。土木作業になりますが多くの参加をお願いします。午後茶話会（反省会）を予定していま  
 す。また、年明け1月28日（日）の作業は、前述の通り昨年もお世話になった里山大学OB会の皆さ  
 ん協力のもと、第2湿原再萌芽除伐作業を予定。これも昨年度からの継続作業です。ぜひご参加く  
 ださい。昼食必要。では、メリークリスマス＆ハッピーニューイヤー！

・次回活動 12月24日（日）2018年1月13日（土）28日（日）

12月24日は 第3湿原再生作業・1月28日は第2湿原 再萌芽除伐作業予定 ご参加を！